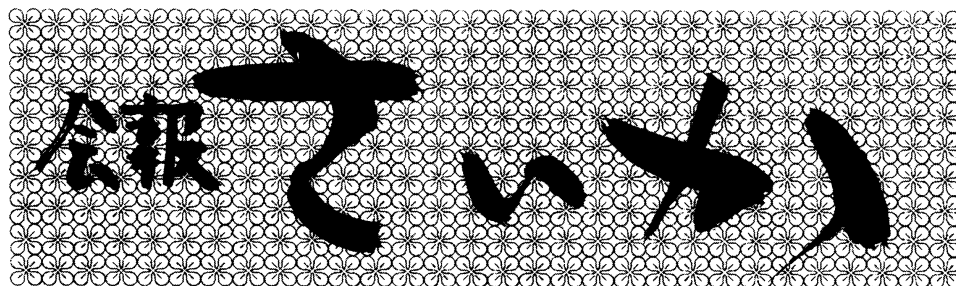


第 47 号

発行所

茶道裏千家淡交会
石川南青年部石川県小松市小馬出町 123
松本パークハウス 24 号
TEL0761-24-6457印刷社名
(株) 鶴川印刷

年間テーマ・目標

「目指そう 100！」

茶道裏千家淡交会石川南青年部会報

微妙会

平成 29 年 7 月 8 日(土)、毎月 8

日に仙叟屋敷で行われる月釜の微妙会に 7 月の席主として石川南青年部が釜をかけさせていただきました。今回私たちが選んだテーマは「七夕」。交趾の竹蓋置に竹絵の水指、五色の縁高に五色の糸かけをした茶筌、流水のガラス棗と蟹の干菓子器などお道具も七夕にちなんだものをそろえました。

また、お菓子も天の川の主菓子に、糸巻きと五色の琥珀のお干菓子。行松部長が亭主を務め、お道具の説明が進むたびに席中でお客様がどつと笑うという感じで、どの席もたくさん笑い声が聞こえ、楽しい時間を過ごしていただけたようでした。

今回は今年の春に摘んだ茶葉で作られた新茶が供され、口切の季節に味わう新茶とはまた違う、香り高く甘みのあるお茶を味わっていただきました。こちらもお客様には驚きがあったようでご好評いただくことができました。

(松岡 未果)

「微妙会に参加して」

武田 奈津

数日前からお天気心配されていましたが、やはり 7 月の微妙会、すっかり晴れてとても暑い一日となりました。当日は、お点前・お運びの担当で朝から緊張していた私でしたが、朝礼での行松明美部長の「楽しみましょう」の笑顔のひとことに心がなごみ、楽しいお茶会にしようという気持ちが湧いてきました。

今回は七夕の設えで、何か月も前から皆でお道具を話し合い、暑い中、少しでも涼しさを感じていただきたいとの思いで作りました。席中では、行松部長のお話と笑顔で場が一気に明るくなり、いつもは緊張で手が震えてしまう私も、お茶会を楽しみながらお点前することができました。設えたお花は花言葉が「永遠の愛」という桔梗で、織姫と彦星にちなんでいたり、主菓子の「天の川」も夜空の星群を連想させるとても綺麗なお菓子であったりと、夏の季節が感じられるものになりました。今回驚いたのは、青年部会員の吉田昭さん作の硝子流水蒔絵の薄器でした。中のお抹茶が透き通って見えて、このような薄器は今まで見たことがなく、とても涼しげで素敵なお道具

でした。

私達青年部以上にお客様にはとても暑い一日になりましたが、大変多くのお客様にお越しいただき、お茶会を終えて感謝の気持ちで一杯です。お軸にかけさせていただいた『白珪尚可磨』のように、自分自身も、そして青年部としても、さらに磨いて向上していきたいと感じました。今後も楽しいお茶会を目指して頑張っていきたいと思えます。皆様、ありがとうございました。



第1回子供茶道教室

平成 29 年 7 月 30 日 (日)、能美市九谷陶芸村にて、第 1 回子供茶道教室が行われました。子供 46 名、大人 18 名とたくさんの方が参加されました。

午前中は、九谷焼絵付け体験で、九谷焼のお皿やコップ、一輪挿しなどの中から自分の好きなものを選び、九谷五彩で自由に絵付けしていただきました。また今回、ウルトラマンの形をした九谷焼のフィギュアもあり、それに絵付けする子供たちもいて、それぞれ個性豊かな作品ができあがりました。昼食のお弁当をはさんで、午後は行松旭松堂の行松宏展さんによる和菓子作り教室が行われました。巾着のようにしぼって作る「朝顔」と、きんとんの形をした「滝津瀬」という銘の 2 種を作りました。初めての人もいれば何度も作ったことがあるという人もいて、教え合いながら大人も子供もみんな真剣になって作っていました。最後はお茶会体験をしました。水屋、お運び、お客様、の 3 つのグループに分かれて、それぞれの役割を体験しながらお茶とお菓子をいただき、作法を学びました。盛りだくさんな内容の一日でしたが、

子供たちはお茶を通じて様々な体験をし、夏の良い思い出となったようです。

(武田 奈津)



「子供茶道教室に参加して」

岩谷 樹

例年には 1 泊 2 日の日程で行われていた地域協力・ジュニア交流委員会の夏の行事ですが、本年からは名称を変え、日帰りの行事として開催することとなりました。内容も時間割も、会場も今までとは違うので、どこをどう使うことができるのか、時間割や委員の

配置など、みんなが過去の経験を思い出しながら検討してきました。できる限りの準備をして臨んだ当日でしたが、実際に参加者がいる中で自分たちでできることが思ったよりも限られること、参加者の動きや会場の広さなど、事前にはどうしてもわかりづらいところで不備があり、参加者にはご不便をおかけして申し訳なく感じました。しかし事故や粗相が無く済んだので、今後も気を付けていきたいと思っています。

今回の会場は、荜野直樹委員長が九谷焼の作家であること、過去に利用したことがあることから、能美市の九谷陶芸村としました。まずは九谷焼資料館にて、受付と日程の説明、班分けを行い、九谷焼陶芸館にて絵付け体験を行いました。価格に上限を決めて、参加者それぞれが好きなものに絵付けできるようにしたところ、大人も含めて皆様、思い思いのものを選んで絵付けを楽しんでおられたようでした。ここでは予想通り、子供たちは早々に描き終え、大人はじっくりと悩んでいました。そして予想外にも、かなり最後のほうに描き終えることになったのは私でした。ここは早めに終えて、みんなの様子を見て楽しむ予定だったのに、そんな余裕は全くありませんでした。そのあと、九谷焼資料館に戻って和

室で昼食をとり、廊下を挟んで向かいにある会議室にて、行松旭松堂の行松宏展氏を講師として和菓子作り教室を行ったのですが、和室で全員が昼食をとるには机の数が足りず、また、和菓子作り教室後の茶道体験のために模様替えをしなければならぬところ、参加者に荷物を持って移動していただくようお願いするのを忘れてしまいました。特に男子のテーブルの雑多な感じに親近感を覚えました。私は茶席準備のために和菓子作りには参加しなかったのですが、こちらはほぼ問題なく終えられたようでした。

茶道体験では、参加者を 3 グループに分け、順番に茶席の水屋、運び、客を体験していただきました。これは初めての試みで、お客だけよりも充実した体験をしていただくことができ、喜んでいただけようでしたが、その段取りには、もっと入念な計画が必要だったと感じました。委員だけでは手不足、ほかの大人の参加者にもご面倒をおかけしてしまいました。

経験の少ないなかでの開催となった今回の子供茶道教室でしたが、時間割については待ち時間が長くなったり、大幅な遅れが出たりはしなかったのが良かったです。このたびは準備不足のところを助けてくれた大人の参加者の

皆様に、感謝いたします。行事運営に初めて参加していただいた新入会員や、いつもの仲間のご尽力のおかげで、私にとっても充実したよい経験となりました。ありがとうございました。



バーベキュー親睦会

平成 29 年 8 月 6 日(日)、小松市瀬領町のせせらぎの郷にて、バーベキュー親睦会が行われました。

以前にも青年部行事でバーベキューを行ったことはありましたが、ご家族の方々にも青年部行事を知っていただき、親睦を深めていただきたいとの趣旨で、今回は会員だけではなくご家族にも参加をよびかけました。

山里の自然の空気を感じながら、野外で焼いて食べるお肉や野菜はとても美味しく、初対面のご家族の方々の会話が弾んで、終始和やかな雰囲気でした。食事の後は全員参加のじゃんけんゲームや、ビーチボールを使ったスイカ割りゲームで、子供から大人まで楽しく盛り上がりました。

ゲームの後は、野外にテーブルを置き、見立ての道具を用いた立札の盆略点前で、お菓子とお茶をいただきました。青年部ならではの遊び心が感じられる楽しいお茶席となりました。ご家族の方に青年部行事を体験していただきながら交流できた、有意義な行事となりました。暑い中参加していただいた皆様、ありがとうございました。

(立花 千佳)



「バーベキュー親睦会に参加して」

行松 宏展

石川南青年部広報委員会によるバーベキュー&呈茶。昨年は炭火がおこらない、そして炭火がおこったと思ったら火事のように火があたり食材が・・・という失敗を糧にし、今年はバーベキュー前日に、炭担当の中川夫妻が自宅庭にてバーベキューのリハーサルを行ったという気合の入れよう。さすがに炭点前まではなかったですが、到着した時にはしっかり炭火がおこり、素晴らしい食事への期待感をいっぱいにしてくれました。

笑いの絶えない楽しい時間。適度な炭火に素晴らしい調理。青年部行事ではありますが、今年は会員のご家族とも交流を図ろうということで、たくさんのご家族、お子さんにも参加いただきました。その中の一人、広報委員会北嶋委員長の旦那様。青年部会員ではないのに、熱い火の前にはずと立ち、調理を最初から最後までされておりました。この調理が絶品。次回もぜひ参加をお願いしたいです。

そして広報委員会見立て立札棚による盆略お点前。娘のお点前による一服を初めていただき、感無量のひとときでありました。お菓子器もひとつひと



つ手製で、なんと当たり付き。当選した会員さんの幸せそうな顔。これぞおもてなしと感嘆いたしました。
笑顔いっぱい、幸せいっぱいの青年部バーベキュー。みんな、茶会してる時より楽しそうでした(笑)。次回も期待大です。

数寄屋袋づくり

平成 29 年 10 月 1 日 (日)、小松市桜木体育館 2 階ミーティングルームにて、数寄屋袋づくり教室が行われました。講師に高岡青年部 OB の山本久美子さんをお招きし、ひとつひとつ丁寧に教えていただきました。今回は、日頃お世話になっている親支部の先生方にもお声かけさせていただき、先生方 8 名、青年部会員 17 名の参加がありました。

まず、講師の山本さんから数寄屋袋ができるまでの流れについて説明がありました。そして、各々が持参した自分の好きな柄の布に接着芯をあててのですが、どういう構図にしたらいかがが難しく、山本さんに指導してもらいながら布を合わせていきました。構図が決まったら手縫いで少しずつ縫っていきます。その後、裏地も同じように縫い、最後に表地と裏地を合わせて縫っていき、布をひっくり返したら留めボタンの部分を仕上げて完成です。途中で、昼食と呈茶をはさんで休憩しながら作成しました。それぞれが自分らしい数寄屋袋が完成し、皆さん大満足で楽しい行事となりました。

(武田 奈津)



「数寄屋袋づくりに参加して」

吉館 聖子

暑さがまだ残る 10 月 1 日 (日) 茶事推進委員会企画の数寄屋袋づくり教室に参加しました。案内が届いた時、表生地は着物の端切れ、風呂敷、刺し子手ぬぐい等と書いてあり、作る前から生地選びにんだかワクワクしました。そして本当に一日で作れるのかな?と心配しましたが、講師でお招きした高岡青年部 OB 山本久美子さんの「今日はみんな完成して帰ってもらいます」の言葉にひとまず安心し、先生から表生地の柄あわせ、作り方のポイント等の説明を聞き作業に取りかかりました。ミシンでサツと作る事もできますが、手縫いの方が柔らかい仕上がりになるそうです。裁縫は苦手ですが、皆とワイワイおしゃべりしながら作るのがとても新鮮で楽しかったです。当日は親先生にも参加していただきました。先生方はなんと一日で 2 個作っておられ流石だと思いました。私は何とか 1 個仕上げる事ができ、我ながら上手く仕上がったと思います。また一つ青年部で良き思い出ができました。茶事委員会の皆様ありがとうございました。



素敵な数寄屋袋に仕上がりました♪
色とりどり、とても個性豊かです。



北陸信越ブロック会員大会

平成 29 年 11 月 11 日 (土) ・ 12 日

(目) の 2 日間、福井県勝山市において第 50 回北陸信越ブロック会員大会が行われました。今回は 50 回の記念の大会とあって、坐忘斎お家元による講演がプログラムに組み込まれるなど、大変充実した大会でした。石川南青年部からもここ数年で最も多い 16 人の参加となりました。坐忘斎お家元のお話は北陸に来ていただいたからこそ聞けた内容で大変興味深く、今後の活動に大きな一助となると感じました。また、薄茶席のために手作りされた座布団や懇親会の席に用意された一人ひとり違うメッセージに恐竜型のフェルト、手作りの名所消しゴムスタンプなど色々な手作りのものが用意されていました。さらに、案内係の方が帛紗を持った恐竜のリュックサックを背負っているなど見ているだけで楽しくなるもや、ひらめきキーワードビンゴなど参加者がより入り込めるような体験型企画など、福井青年部によるおもてなしは、きめ細やかさと大胆さを併せ持っており驚きと喜びの連続でした。

来年の 51 回大会は私達石川南青年部もおもてなし側に参加する大会にな



る予定です。今回の体験を生かしたおもてなしができればと思います
(松岡 未果)

青年部納会

平成 29 年 11 月 25 日 (土)、小松駅前

の「SOS」にて納会が行われました。行松部長の挨拶から始まり、今年一年を振り返りながら思い出話や今後の活動についてなど歓談を楽しみました。各委員会からのゲームで盛り上がったあと、今年で青年部を卒業される坂本哲也さん、吉本慎太郎さんから一言をいただき、一年の締めくくりとなりました。
(北嶋 恵里香)



卒業に寄せて

平成 29 年度の青年部卒業生の方々に、今回卒業にあたり今までの思い出など寄せていただきました。

「卒業に寄せて」

宇田 千春

青年部には二十代に数年在籍しておりましたが、遠のいていたお稽古を再開すると同時に再入会し、五年間お世話になりました。温かく迎え入れてくださった会員の皆様をはじめ、ご縁をいただきましたたくさんの方々には心より感謝しております。地区大会、白山比咩神社での献茶式やブロック大会など様々な行事に参加し経験したことは、私の大切な財産となりました。今後、青年部の益々のご発展を樂しみにしております。短い間でしたが、ありがとうございました。



「青年部を卒業して」

坂本 哲也

多くの先輩の卒業を見送ってきましたが、ついに自分の番が来たかと思うと感無量です。29歳で青年部に入会してあつという間の21年でした。最初は50歳で卒業なんてお茶の世界の青年とはなんて長いのだろーと思っていました。自分が未熟な事がよく分かります。趣味の写真を通じて貢献できたことは嬉しかったし、この世界に入らなければ出会う事のなかった素敵な方々にご縁をいただけたのが何よりの自分の財産です。卒業しても又何かお役に立てる事があれば一生懸命頑張ろうと思っています。本当に長い間ありがとうございました。



「感謝の気持ちでいっぱいです！」

吉本 慎太郎

とにかく仕事柄（一応、市議会議員です）公の席で恥をかきたくない、その一念で習い始めた茶道です。お稽古のたび、我が身の礼節の行き届かなさに赤面する日々でした。そんなわけなので、大田先生に青年部入会を勧められても「イヤー、私なんかが…」と恥ずかしい気持ちでいっぱいでした。年齢的なものもあつたし（笑）。

入会して改めて感じ入ったのは、青年部の皆さんは人格者揃いであるという事です。それは茶道で培われたものなのか、そういった方が茶道を習うのか、いずれにしても一つ一つの振舞いに気品が感じられ、教わる事が多かったです。青年部に入会できた事に感謝します。本当にありがとうございました。

編集後記

今年度は本当に行事が盛りだくさんで、前号に引き続き内容の濃い「さいか」となりました。この一年当青年部にご理解、ご協力いただいた親先生方ならびにご関係者の方々に、厚く御礼申し上げます。

来年度も、7月の北陸信越ブロック会員大会（石川）をはじめ、数々の行事を予定しております。今後とも充実した青年部活動を、広報委員会一丸となって、皆様にお伝えしていきたいと思ひます。

（立花 千佳）



青年部会員大募集中♪

私たちと一緒に活動しませんか
お気軽にお声かけください



淡交会支部事務所
0761・24・6457
もしくは
石川南青年部部长 行松明美
090・2837・9330
メール
hinakanarisa@yahoo.co.jp